



非行に走る人はその前にサインを送っている。それを拾えない状況を変えなければいけない。そう伝えたくてキャッチフレーズを「『教育の敗北』と言っていいこの状況を打破するために」としました。新書は専門分野の入門書で、難しそうと思われがちです。でも伝えたいことがストレートに書いてあるので分かりやすいと思いました。ポップを見て気になる本を読んでほしいです。

3年 山内 美来さん



知ってほしい  
 POPに込めた思い  
 私の推し本

県立川西北陵高校では、本に親しんでもらうことを目的に「新書研究」という授業を行っています。表現力を育てるため、現在の3年生がキャッチフレーズと内容紹介を書いたポップ広告を作り、校内のコンクールで発表。

その後、POPプロジェクトとして地域の書店に協力を依頼し、2年生がポップ広告などを設置して特設コーナーを作り、6月上旬まで展示しました。

「ケーキの切れない非行少年たち」を選んだ2人(ベストポップ賞を受賞)

非行少年の多くが、認知機能の特性で物がゆがんで見えていることに衝撃を受け、「全てが歪んでみえている」をキャッチフレーズに。でも、その人たちと私たちの間に明確な境界線はないと、この本で知りました。自分は犯罪とは無縁だと思う人にこそ、読んでもらいたいです。



3年 山際 祐里奈さん



稲中 優子先生

3年 山際 祐里奈さん

3年 山内 美来さん

2年 須川 葵さん

2年 井上 魁さん

生徒の成長につなげていきたい

活動を通して、生徒の成長がよく見てとれました。新書が好きになる、書店に寄るように



なる、人に話すのが上手くなるなどの他、広告物を見て普段から伝え方を学べるようになるなど、私の予想を超えたものもあります。今後も何らかの形で新書研究を続け、生徒の成長につなげていきたいと考えています。

県立川西北陵高校  
 稲中 優子先生



高校生と共に本の魅力を発信

以前から地域と連携した取り組みを考えていたので、ありがたいご提案でした。学生や親子連れのお客さまが増えた他、高齢のお客さまからも「数冊買うことを決めたが、他にも魅力的な紹介が多くて選びきれない」という声をいただきました。高校生ならではの目線で本の良さを引き出してくれたことを、うれしく思っています。

㈱紀伊國屋書店 川西店  
 店長 寺田 瞳さん



**CHECK & QUIZ** 次の空欄(○の中)を埋めてください。  
 1:特集 はじまった!○学校給食 2:市長選挙と○議会議員選挙  
 クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、10月11日(火)(消印有効)までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。  
 ※9月号の正解は(働)(力)で、129件の応募がありました。

**8月末現在の人口**

男	73,182人 (-41)
女	81,995人 (-46)
計	155,177人 (-87)
世帯数	71,220世帯 (-22)